

3月藤里学園、けが人なし **学校給食に金属片混入**

藤里町の義務教育学校藤里学園(安部晃幸校長、121人)の3月の学校給食に金属片が混入する事案が発生していたことが12日、分かった。児童、教職員にけがはなかった。

町教育委員会によると、異物の混入があったのは3月5日の献立にあったジャガイモとひじきのカレー。町の学校給食センターが調理したもので、その日は学園と藤里幼稚園(金野尚人園長、20人)に提供した。小学校3年生に当たる前期課程3年の女子児童が口にして違和感を覚え、取り出したところ長さ約1センチ、太さ約0.2ミリの針金状の金属片だった。

町教委は発生後すぐに調理場を調査したが、設備や調理器具に破損はなかったため、「金属片は調理過程以外で混入した」と結論を出した。調査の結果は12日に電話で保護者に伝えた。

町教委は「園児、児童、生徒にご心配をおかけした。調査結果の報告が遅れたことも申し訳ない。学校給食の安心、安全に配慮し、再発防止に努める」としている。(加藤龍太郎)

(令和7年5月3日(土)秋田魁新聞より一部抜粋)